

2019年

3月1日 金

講演開始

18:00

＊後半は若い世代の方々とのディスカッションの場とします。〈19:30 終了予定〉

いわて県民活動交流センター（アイーナ）

8階 会議室 812

（岩手県盛岡市盛岡駅西通 1-7-1）

途上国から世界に通用するブランドをつくる

「モノづくり」を通じて「途上国」の可能性を世界に届けたい。その思いから、山口絵理子さんは「マザーハウス」を立ち上げました。

バングラデシュやネパール、インドネシア、スリランカ、インドなどで作られるバッグやアクセサリ、スカーフ、シャツ… これらの商品を通じて世界の多様性を伝え、笑顔とぬくもりが世界に少しでも増えることを目指しているという山口さん。山口さんが「マザーハウス」の活動を通じて見る世界はどんな世界でしょうか。

山口 絵理子 株式会社マザーハウス代表取締役兼チーフデザイナー

1981年埼玉県生まれ。慶應義塾大学総合政策学部卒業。ワシントンの国際機関でのインターンを経てバングラデシュ BRAC 大学院開発学部修士課程入学。現地での2年間の滞在中、日本大手商社のグツカ事務所に研修生を勤めながら夜間の大学院に通う。

2年後帰国し「途上国から世界に通用するブランドをつくる」をミッションとして株式会社マザーハウスを設立。現在バングラデシュ、ネパール、インドネシア、スリランカ、インドの自社工場・提携工房でジュート（麻）やレザーのバッグ、ストール、ジュエリー、アパレルのデザイン・生産を行う。日本国内31店舗、そして台湾4店舗、香港2店舗で販売を展開（2018年12月時点）。

Young Global Leader (YGL) 2008 選出。ハーバードビジネススクールクラブ・オブ・ジャパン アントレプレナー・オブ・ザ・イヤー 2012 受賞。

お申込み方法

お名前・職業・連絡先（電話またはEメール）を、（公財）岩手県国際交流協会までお知らせください。

マザーハウスの商品をお持ちの方はぜひ当日ご持参ください

ワークショップ及び講座

「世界の多様性を考える」

株式会社マザーハウス代表取締役兼チーフデザイナー

山口 絵理子 氏

